

東レ合繊クラスターの設立（2004年）

趣旨

従来の素材メーカー系列や委託・自販という枠組みを越え、
産地企業と東レの経営力・技術力を結集し、世界に類のない
原糸／高次一貫の連携体制を構築する。

産地企業



東レ

原糸・高次一貫の知恵と技術の融合

相互の切磋琢磨と有機的連携

運営の方向

—— 2003年繊維ビジョンに掲げられた課題の実戦 ——

流通構造を含む
抜本的な構造改革の推進
自立化の推進

素材開発力・新商品
開発力の強化

輸出拡大と通商政策
への対応

国内繊維産業の復権・再活性化を図るため、産学官の有機的連携を目指し、
民間ベースの実務的な運営母体として
「東レ合繊クラスター」を形成

東レ合繊クラスター運営体制(2024年10月現在)

